

聖徳大学幼児教育専門学校の学生募集停止について

平素より、学校法人東京聖徳学園の教育研究活動に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、学校法人東京聖徳学園は、慎重な検討を重ねた結果、令和9（2027）年度以降の聖徳大学幼児教育専門学校の学生募集を停止することを決定いたしました。

聖徳大学幼児教育専門学校は、昭和8（1933）年に、聖徳家政学院として学園創立者川並香順・孝子によって設立され、建学の理念である「和」の精神に基づき、長きにわたり人間形成の基礎となる幼児期教育を担う人材の育成に力を注いでまいりました。附属の幼稚園をはじめとする実践の場を生かし、子ども一人ひとりに寄り添う教育を重視しながら、多くの卒業生を社会へ送り出してきたことは、本校の誇りであり、大きな財産です。

しかしながら、近年の急速な少子化の進行、幼児教育・保育分野を取り巻く環境の大きな転換を受け、入学者が定員を下回る状況が続いています。

今後について、慎重に検討を重ねてまいりましたが、この状況を改善できる見通しが立たないことから、今後の教育資源の最適な活用と、より持続可能な幼児教育支援のあり方を見据え、学生募集を停止せざるを得ないとの苦渋の決断に至りました。

学生募集は停止いたしますが、在校生、新入生への教育および学生生活の支援は、これまでと変わることなく、最後まで責任をもって実施いたします。学生一人ひとりが安心して学び、卒業の日を迎えるよう、教職員一同、誠意をもって取り組んでまいります。また、卒業生への証明書発行の手続きにつきましても、支障のない体制を維持してまいります。

本校が培ってきた幼児教育の理念と実践は、ここで終わるものではありません。建学の精神「和」は、今後も法人内の教育活動や幼児教育支援の取り組みに受け継がれ、未来を担う子どもたちと教育者のために生かされ続けてまいります。

これまで本校の歩みを支えてくださった学生・卒業生・保護者の皆様、関係教育機関、地域の皆様には、厚く御礼申し上げます。

今後とも、本学園の教育活動に対し、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和8（2026）年1月14日

学校法人東京聖徳学園
理事長 川並 弘純

聖徳大学幼児教育専門学校
校長 川並 順